



WILD BIRD SOCIETY OF JAPAN・SAITAMA

しらこぼと

2022.5-6

No.452

日本野鳥の会 埼玉

S H I R A K O B A T O



21 世紀に入ってからこの鳥 見てる？

— 埼玉県鳥類リストから —

榎本秀和(鴻巣市)

◇ はじめに

皆さんこんにちは。私は、当会で野鳥記録委員会を担当しています。

2021 年 11 月 21 日に開催された当会「埼玉オンライン野鳥フォーラム」でお話したことを踏まえ、野鳥記録委員会（以下、当委員会と略記します）ならびに当会の HP 上でも公開されている「埼玉県鳥類リスト」について述べたいと思います。

◇ 当委員会の仕事

当委員会（現在、委員は私を含めて 4 人です）というのは何をしている委員会なのか、というところから申し上げますと、早い話が「埼玉県鳥類リスト」の作成と管理です。

埼玉県内で、どのような野鳥が観察されているのか、これまで何種類の野鳥が記録されているのか、そういうことをリストにして管理して行くのが仕事です。

「写真撮ったけど、この鳥な～に？」。当委員会が動き出すのは、多くはそんな場面からです。特に、県内での観察は初めてと思われる野鳥の観察事例が寄せられたときは、まさしく当委員会の出番です。当委員会では、その野鳥の写真などの情報をあらゆる角度から検討し、当委員会では「間違いなし」という結論に達したとき、その野鳥は晴れて「埼玉県鳥類リスト」に加わることになります。

採鳥会の鳥合わせで使用する「埼玉県野

鳥チェックリスト」も、当然この「埼玉県鳥類リスト」を基に作成されているわけで、けっこう責任の重い仕事です。

なお、当委員会では、県内初記録だけに限らず、おおむね 3 例目ぐらまでは『しらこぼと』誌上に発表することになっています。

日本初記録の野鳥は、目下のところ埼玉県内からは出ておりません。

◇ 「埼玉県鳥類リスト」の起点

さて、「埼玉県鳥類リスト」の起点は 1978 年 4 月です。この時点で 259 種を数えました。それ以降、毎年のように新たな野鳥の確認があり、現時点（2022 年 4 月 1 日現在）では 349 種にまでなっています。

では、当委員会がなぜ 1978 年 4 月にこだわっているのか、と申しますと、それには理由があります。それは、1978 年 3 月に、埼玉県教育委員会から『埼玉県動物誌』という文献が発行されたことによります。

『埼玉県動物誌』の発行を「記念すべきひとつの区切り」と位置づけ、それに続くものとして、当委員会（ただし、当初は野鳥記録委員会というものはなく、当会の研究部（現在の調査部）がこの仕事を担当していました）では、1978 年 4 月以降に記録された野鳥だけで新しい時代の野鳥リストを作成することになりました。

というのも、『埼玉県動物誌』には、江戸時代の文献に残るだけの記録や、太平洋戦争前の記録など、近年の観察の途絶えている野鳥が含まれており、ややもすると私たちの生活する現代とは懸け離れたものとなっていたからです。

そこで、「現代の生活感覚に即したリスト」の必要性という観点から、1978 年 4 月以降の「現代」に記録された野鳥のみでリストを作成することになったわけです。



アカツクシガモ (撮影:Y.E.)

◇ 「埼玉県鳥類リスト」の課題

しかし、21 世紀に入った現在、「1978 年」というのも既に昔の話となりました。いっそのこと「21 世紀に入ってから鳥類リスト」を作るべきではないのか。私の個人的な意見ではありますが、そんなことを思ったりもします。

まあ、現下の「埼玉県鳥類リスト」に話を戻しますが、私は常々気になっていることがあります。それは、この「リスト」の野鳥の中に、最近の記録が途絶えているものがあるということに関するモヤモヤ感です。

「埼玉県鳥類リスト」に掲出されている野鳥でも、21 世紀に入ってから（2001 年 1 月以降）の記録を聞かないものがあります。よほどの珍鳥なら仕方ありませんが、例えばイヌワシとかホシガラスはどうでしょう。これらの鳥は埼玉県からいなくなってしまったのでしょうか。それは、たぶん違うと思います。

イヌワシやホシガラスが記録されたのは秩父地方の山岳地帯だと思うのですが、埋もれてはいるが、どこかに記録はあるのではないのか、記録が表立って出ていないだけではないのか、と私は思っています。実際、東京都の奥多摩では、21 世紀に入ってからイヌワシは記録されているのです。

そのほかの野鳥でも、「埼玉県鳥類リスト」に既に載っているから…、という思い込みで、21 世紀に入ってから記録が公表されていない事例はあるだろうと想像します。日常の野鳥観察の空白地を作らないことが重要になっているということかもしれません。

◇ 皆さまへのお願い

「埼玉県鳥類リスト」が掲出している野鳥で、21 世紀に入ってから記録のない野鳥は別表のとおりです。いかがでしょうか。皆さんのお手元に、記録が眠っている種名はありませんか。

ここで皆さんにお願いがあります。先にも申し上げましたが、当委員会は皆さんから情報を寄せられてからが仕事になります。「これは」というような情報をお持ちの方は、ぜひとも本誌奥付にある「編集部への野鳥情報」



ムネアカタヒバリ（撮影:Y.E.）

のアドレスまで情報をお寄せください。21 世紀に入ってから記録が途絶えている野鳥については、フォローして行くことも考えて行かねばならないでしょう。

繰り返しになりますが、野鳥観察の空白地を作らないこと、これが非常に大切です。「他の人が報告しているだろう」というお考えはお捨ていただいて、まずは「野鳥情報」のアドレスまで記録をお寄せください。

記録が埋もれてしまうのは残念なことです。当委員会は埋もれた記録の掘り起こしにも取り組んで行かなければならない、そんなことを感じている昨今です。

別表 21 世紀に入ってから記録のない野鳥

ヒシクイ アカツクシガモ アカハシハジロ
メジロガモ クビワキンクロ シロハラミズ
ナギドリ オナガミズナギドリ クロコシジ
ロウミツバメ クロウミツバメ ナベコウ
オオヨシゴイ リュウキュウヨシゴイ クロ
サギ マナヅル ツルクイナ アメリカムナ
グロ シベリアオオハシシギ ホウロクシギ
オオキアシシギ オバシギ コモンシギ ミ
ツユビカモメ セグロアジサシ オオトウ
クカモメ マダラウミスズメ オジロワシ
オオワシ イヌワシ ヤマシヨウビン チゴ
モズ オオモズ ホシガラス コヒバリ オ
オセッカ オガワコマドリ シマゴマ イ
ワヒバリ セジロタヒバリ ムネアカタヒバリ
イスカ ツメナガホオジロ シマアオジ ミ
ヤマシトド (以上 43 種)

※当会調査部のデータベースより作成

2022 年冬 カモ科カウント調査結果

日本野鳥の会埼玉 調査部

今回の調査は、2022 年 1 月 8 日から 1 月 17 日の間に、県内 86 ヶ所(前年は 81 ヶ所)で行われました。この調査で 19 種、総個体数 15,124 羽が記録されました。昨年と同じ調査地では 13,944 羽→13,135 羽と 5.8%の減少でした。種数が 18 種→19 種に増加しました。オオハクチョウが観察されました。

羽数上位 4 位のヒドリガモまで 2,000 羽を超えています。4 年ぶりにマガモが 1 位になり、3 年連続 1 位のコガモが 3 位になりました。表「羽数上位のカモ」を参照してください。今回も調査地を増やしたので、種類別のランキングはカウント総数に対しての%(比率)で比較しました。種類別の順位や羽数の変動はカラーを使用したグラフにすれば分かりやすいので、ホームページに掲載予定です。

少数カモの近年の変遷を確認しました。対象は直近 5 年間でカウントされ、羽数が 1 回でも 50 羽以下のカモです。表「少数カモの羽数」を参照してください。2 年間 0 だったオオハクチョウ(6)が観察されました。昨年 70 羽以上だったトモエガモ(70→15)、ミコアイサ(74→20)が大きく減りました。カワアイサ(19→3)の変化も目立ちます。オンドリは 19 年に 1 羽になりましたが、他の年は 40 羽以上を維持しています。ウミアイサは 2020 年に 1 羽観察されましたが、今年も 0 でした。

今回は調査地別の変化を考察しました(2018 年から 2022 年の比較)。表「大きく増加した調査地の羽数」、「大きく減少した調査地の羽数」、「変動が大きい調査地の羽数」、「変

動が小さい調査地の羽数」を参照してください。調査年全てで 50 羽以上をカウントした調査地を対象としています。

・大きく増加した調査地

狭山湖が大きく増加しています。2020 年まで 100 羽付近だったのが、2021 年から急増(8 倍以上)しています。

・大きく減少した調査地

後谷調整池(桶川市)、昭和沼(久喜市)の 2 地点が 2018 年の 3 割と大きく減っています。昭和沼は少しずつ減っていますが、後谷調整池は 2020 年(54)と大きく減ったのちに 2022 年(227)と回復しています。ソーラーパネルの影響が考えられます。

＜カモ科カウント調査の新規協力のお願い＞

会員の高齢化により、毎年カウント調査を辞退する方が増えています。この地域ならカウント調査を行っても良いという方がいらっしゃいましたら、調査部 research@wbsj-saitama.org に連絡を頂けると有難いです。調査部では毎年 11 月に、前回実施して下さいの方に、今回もカウント調査をして頂けるか確認しますが、「出来ない」旨の返信が来た場合に新規の方に連絡致します。

今回の調査は 47 名の方にご協力いただきました。厳しい寒さの中での調査、お疲れ様でした。心より御礼申し上げます。今後とも、ご協力よろしくお願い申し上げます。

(調査部 三好正幸)

＜調査協力者＞(敬称略、五十音順)

相原修一、相原友江、浅見健一、浅見 徹、新井 巖、石井 智、石川敏男、石塚敬二郎、石光 章、伊藤芳晴、井上幹男、今村富士子、海老原教子、大井智弘、大畑祐二、金井祐二、河辺典子、小林ますみ、小林 茂、小林みどり、小林洋一、佐久間博文、佐野和宏、嶋田富夫、鈴木紀雄、鈴木秀治、千島康幸、千葉秀男、手塚正義、長嶋宏之、長野誠治、長野真由美、中村 治、中村豊己、野口 修、長谷部謙二、畠山 孝、菱沼一充、菱沼洋子、藤澤洋子、別井利次、三好正幸、茂木幸蔵、森本國夫、山部直喜、吉原俊雄、吉原早苗



ヨシガモの群れ(編集部)

羽数上位のカモ(太字は最上位)

鳥種名	18年	19年	20年	21年	22年
マガモ	22.2%	19.8%	12.5%	21.0%	25.2%
カルガモ	23.2%	18.9%	24.0%	20.2%	21.5%
コガモ	22.0%	22.7%	24.1%	21.2%	20.4%
ヒドリガモ	13.7%	15.5%	16.0%	14.9%	14.9%
キンクロハジロ	5.8%	7.8%	6.9%	4.8%	5.3%
オナガガモ	3.8%	2.4%	5.2%	7.7%	3.5%
ホシハジロ	4.3%	6.9%	6.2%	3.7%	3.2%

%はカウント総数に対して

少数カモの羽数

鳥種名	18年	19年	20年	21年	22年
アカハジロ	1	0	0	0	0
アメリカヒドリ	2	0	1	4	2
ウミアイサ	0	0	1	0	0
オオハクテヨウ	3	6	0	0	6
オシドリ	80	1	55	69	47
カワアイサ	4	3	0	19	3
スズガモ	3	48	10	13	1
トモエガモ	6	2	4	70	15
ホオジロガモ	26	47	28	47	32
ミコアイサ	15	22	28	74	29
ヨシガモ	57	79	35	84	74

大きく増加した調査地の羽数

調査地	18年	19年	20年	21年	22年	比率
狭山湖	108	63	79	1057	865	8.01
武蔵丘陵森林公園 山田大沼	442	283	319	335	819	1.85
まつぶし緑の丘公園	207	291	341	289	325	1.57
芝川 新宿橋一八丁橋	120	85	114	85	187	1.56
びん沼川 船渡橋～ 南畑排水機場	82	53	165	73	126	1.54

大きく減少した調査地の羽数

調査地	18年	19年	20年	21年	22年	比率
桶川市 後谷調整池	734	470	54	165	227	0.31
久喜菖蒲公園 昭和沼	777	692	534	550	251	0.32
利根川 坂東大橋下流	266	118	335	277	150	0.56
元荒川 城北大橋 ～水管橋	219	236	268	252	129	0.59
加須 はなさき公園	176	139	220	156	115	0.65

変動が大きい調査地の羽数

調査地	18年	19年	20年	21年	22年	標準 偏差
狭山湖	108	63	79	1057	865	486
行田浄水場	640	439	988	1215	787	301
荒川・彩湖	861	213	818	844	942	296
桶川市 後谷調整池	734	470	54	165	227	272
武蔵丘陵 森林公園 山田大沼	442	283	319	335	819	220

変動が小さい調査地の羽数

調査地	18年	19年	20年	21年	22年	標準 偏差
芝川 八丁橋一 青木橋水門	81	89	70	101	120	19
鴨川 浅間橋～ 堀の内橋	95	120	134	90	129	20
そうか公園	139	119	176	167	153	23
加田屋川 七里総合公園 一県道214号線	110	72	61	104	134	30
八丁湖 (吉見町)	248	243	246	176	269	35

総計 & 増減比	コ ハ ク チ ョ ウ	オ オ ハ ク チ ョ ウ	オ シ ド リ	オ カ ヨ シ ガ モ	ヨ シ ガ モ	ヒ ド リ ガ モ	ア メ リ カ ヒ ド リ	マ ガ モ	カ ル ガ モ	ハ シ ビ ロ ガ モ	オ ナ ガ ガ モ	ト モ エ ガ モ	コ ガ モ	ホ シ ハ ジ ロ	キ ン ク ロ ハ ジ ロ	ス ズ ガ モ	ホ オ ジ ロ ガ モ	ミ コ ア イ サ	カ ワ ア イ サ	ウ ミ ア イ サ	カ モ 不 明 種	カ モ 交 雑 種	カ モ 科 個 体 数	カ モ 科 種 類 数	カ ワ ウ
2022年 種類別総計 全調査地	238	6	47	162	74	2258	2	3811	3243	292	530	15	3075	483	806	1	32	29	3	0	12	5	15124	19	665
2022年 種類別総計 従来調査地	238	6	47	139	65	2070	2	3605	2543	284	475	15	2288	479	806	1	32	20	3	0	12	5	13135	19	630
2021年 種類別総計	272	0	69	115	84	2071	4	2915	2814	137	1076	70	2953	510	671	13	47	74	19	0	19	11	13944	18	462
増減比 (2022/2021) 全調査地	0.88	—	0.68	1.41	0.88	1.09	0.50	1.31	1.15	2.13	0.49	0.21	1.04	0.95	1.20	0.08	0.68	0.39	0.16	—	0.63	0.45	1.08	1.06	1.44
増減比 (2022/2021) 従来調査地	0.88	—	0.68	1.21	0.77	1.00	0.50	1.24	0.90	2.07	0.44	0.21	0.77	0.94	1.20	0.08	0.68	0.27	0.16	—	0.63	0.45	0.94	1.06	1.36

No	調査地(河川・湖沼等)		コ ハ ク チ ョ ウ	オ オ ハ ク チ ョ ウ	オ カ シ ン ガ モ	オ カ シ ン ガ モ	ヒ ド リ ガ モ	ア メ リ カ ヒ ド リ	マ ガ モ	カ ル ガ モ	ハ シ ビ ロ ガ モ	オ ナ ガ ガ モ	ト モ エ ガ モ	コ ガ モ	ホ シ ハ ジ ロ	キ ン ク ロ ハ ジ ロ	ス ズ ガ モ	ホ オ ジ ロ ガ モ	ミ コ ア イ サ	カ ワ ア イ サ	ウ ミ ア イ サ	カ モ 不 明 種	カ モ 交 雑 種	カ モ 科 個 体 数	カ モ 科 種 類 数	前 年 度 個 体 数	前 年 度 種 数	前 年 度 増 減	カ ワ ウ	結 核 の 有 無	
1	入間川	豊水橋～新富士見橋	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	3	71	4	0.70	12	無	
2	越辺川	八幡団地前	77	0	0	0	0	0	16	41	0	223	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	390	5	279	5	1.40	14	無	
3	びん沼川	船渡橋～南畑排水機場	0	0	0	0	3	0	7	29	28	0	0	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126	5	73	6	1.73	25	無	
4	荒川	戸田橋～荒川鉄橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	7	0	0	0	0	0	0	0	16	2	25	4	0.64	1	無	
5		彩湖	0	0	0	0	0	0	111	66	11	0	0	2	343	407	1	0	1	0	0	0	0	942	8	844	9	1.12	275	無	
6		明戸堰上流	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	43	2	105	5	0.41	18	無	
7		植松橋及び菅沼付近	141	0	0	24	0	1	0	0	28	0	22	0	0	1	93	0	0	0	0	0	0	310	7	302	8	1.03	16	無	
8		玉淀河原	0	0	0	0	0	0	0	85	0	0	50	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	148	3	77	2	1.92	0	無	
9		川の博物館付近	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	39	6	-	4	無	
10		玉淀ダム	0	0	45	0	0	0	26	5	0	46	0	50	30	0	0	0	0	0	0	0	0	202	6	149	8	1.36	5	無	
11	鴨川	鴨川排水機場	0	0	0	0	0	0	13	5	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	29	3	33	3	0.88	0	無	
12		堀の内橋～浅間橋	0	0	0	0	0	0	51	50	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	129	3	90	3	1.43	1	無	
13	元荒川	蓮田白岡環境センター～八幡橋～今宮橋	0	0	0	0	88	0	4	60	0	0	0	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	191	4	222	5	0.86	27	無	
14		栗橋線(県道3号線)～東北本線鉄橋	0	0	0	0	78	0	0	2	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	85	3	30	1	2.83	0	無	
15		城北大橋～水管橋	0	0	0	3	0	63	0	0	56	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	129	4	252	5	0.51	1	無	
16		末田須賀堰	0	0	0	0	0	75	0	0	11	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	89	3	139	2	0.64	0	無	
17		堂面橋～寿橋	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	18	2	20	1	0.90	0	無	
18	古利根川	古利根公園橋～藤塚橋	0	0	0	0	161	0	46	79	0	0	0	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	346	4	543	7	0.64	0	無	
19		春日部大橋～古利根公園橋	0	0	0	0	21	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	25	3	3	1	8.33	0	無		
20	利根川	坂東大橋下流	0	0	0	5	1	2	0	4	0	0	2	0	130	0	0	0	6	0	0	0	0	150	7	277	7	0.54	7	無	
21	新河岸川	田島橋～川崎橋	0	0	0	14	0	283	1	5	60	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0	0	1	383	6	437	7	0.88	4	無	
22		川崎橋～第二新河岸橋	0	0	0	0	24	0	4	12	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1	48	4	70	5	0.69	0	無	
23	柳瀬川	富士見橋～栄橋	0	0	0	0	109	0	34	24	0	0	0	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	214	4	221	5	0.97	21	無	
24	芝川	石橋～松山橋	0	0	0	3	8	66	0	0	50	2	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	147	6	110	5	1.34	0	無	
25		松山橋～大道橋	0	0	0	16	0	0	0	1	53	1	0	0	114	0	0	0	0	0	0	0	0	185	5	129	5	1.43	1	無	
26		合併記念見沼公園の池	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	-	0	有	
27		大道橋～新宿橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	1	41	4	0.15	0	無	
28		新宿橋～八丁橋	0	0	0	9	0	0	8	73	0	0	0	0	97	0	0	0	0	0	0	0	0	187	4	85	3	2.20	2	無	
29		芝川第一調節池	0	5	0	0	0	2	0	140	2	0	0	1	8	1	1	0	0	6	0	0	0	166	9	68	4	2.44	20	無	
30		八丁橋～青木橋水門	0	0	0	8	0	16	0	8	20	0	2	0	36	6	24	0	0	0	0	0	0	120	8	101	5	1.19	0	無	
31		青木橋水門～芝川水門	0	0	0	0	169	0	0	29	0	0	0	0	0	43	137	0	0	0	0	0	0	378	4	397	5	0.95	0	無	
32		加田屋川	七里総合公園～県道214号線	0	0	0	3	0	0	12	92	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	134	4	104	4	1.29	1	無
33			七里総合公園～締切橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	無
34	見沼代用水 東線	締切橋～国昌寺橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	無
35		国昌寺橋～国道463号線	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	26	2	36	2	0.72	0	無	
36		国道463号線～山口橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	無
37	見沼代用水 西線	県道214号線～山中橋	0	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	38	1	0.26	0	無	
38		山中橋～馬場橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	無
39		馬場橋～附島橋	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	2	38	1	0.79	0	無	
40	綾瀬川	武蔵野線鉄橋～新栄団地	0	0	0	0	54	0	21	73	7	1	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	179	6	150	5	1.19	0	無	
41		伏起～大橋	0	0	0	0	0	0	0	31	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	2	55	3	0.71	0	無	
42	秋ヶ瀬公園・池		0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	8	2	0.25	0	無	
43	狹山湖		0	0	0	34	1	0	0	754	16	0	1	12	30	11	0	0	3	0	3	0	0	865	10	1057	12	0.82	19	無	
44	川越水上公園・池		0	0	0	0	92	0	16	125	0	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	258	4	180	5	1.43	1	無	

No	調査地(河川・湖沼等)	コ ハ ク チ ヨ ウ	オ オ ハ ク チ ヨ ウ	オ シ ド リ	オ カ ヨ シ ガ モ	ヨ シ ガ モ	ヒ ド リ ガ モ	ア メ リ カ ヒ ド リ	マ ガ モ	カ ル ガ モ	ハ シ ビ ロ ガ モ	オ ナ ガ ガ モ	ト モ エ ガ モ	コ ガ モ	ホ シ ハ ジ ロ	キ ン ク ロ ハ ジ ロ	ス ズ ガ モ	ホ オ ジ ロ ガ モ	ミ コ ア イ サ	カ ワ ア イ サ	ウ ミ ア イ サ	カ モ 不 明 種	カ モ 交 雑 種	カ モ 科 個 体 数	カ モ 科 種 類 数	前 年 度 個 体 数	前 年 度 種 数	前 年 度 増 減	カ ワ ウ	給 餌 の 有 無	
45	小畔水鳥の郷公園・御伊勢塚公園	0	0	0	0	0	23	0	2	96	0	0	0	51	0	0	0	0	0	0	0	0	0	172	4	291	4	0.59	20	無	
46	伊佐沼	0	0	0	0	0	26	0	11	70	10	0	0	128	0	0	0	0	0	0	0	0	0	245	5	370	5	0.66	11	無	
47	武蔵丘陵森林公園・山田大沼	0	0	0	0	0	0	623	17	3	2	0	163	10	1	0	0	0	0	0	0	0	0	819	7	335	6	2.44	21	無	
48	大沼(吉見町)・百穴湖	0	0	0	0	3	0	0	12	118	0	0	0	3	12	0	0	0	0	0	0	0	0	148	5	65	4	2.28	0	無	
49	天神沼(吉見町)	0	0	0	0	0	0	0	15	0	37	0	0	81	8	0	0	0	7	0	0	0	0	148	5	140	7	1.06	4	無	
50	八丁湖(吉見町)	0	0	2	0	0	0	0	241	24	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	269	4	176	6	1.53	0	無	
51	大沼公園・大沼(熊谷市)	0	0	0	0	0	5	0	0	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	2	18	3	0.78	0	無	
52	県立農林公園・芳沼	0	0	0	0	0	3	0	12	0	0	0	0	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	38	3	0	0	—	9	無	
53	久喜葛蒲公園・昭和沼	0	0	0	0	16	37	0	77	72	6	17	0	13	2	5	0	0	3	0	0	0	3	251	10	550	8	0.46	20	無	
54	行田浄水場	0	0	0	0	0	2	0	326	238	2	50	0	159	0	0	0	0	0	0	0	10	0	787	6	1215	7	0.65	0	無	
55	白幡沼	0	0	0	0	0	0	0	0	2	11	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	3	10	2	1.90	0	無	
56	見沼自然公園・池	0	0	0	4	0	42	0	0	38	0	35	0	37	0	0	0	0	0	0	0	0	0	156	5	93	5	1.68	0	有	
57	大宮公園・ポート池及び隣接する池	0	1	0	0	0	0	0	4	15	0	4	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	26	5	61	4	0.43	0	有	
58	大宮第三公園・みぬめの沼	0	0	0	0	0	0	0	8	2	2	0	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	4	15	5	2.27	0	無	
59	深作多目的遊水地及び東宮下親水公園	0	0	0	0	0	0	0	25	11	0	0	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	74	3	148	5	0.50	0	無	
60	そうか公園・池	0	0	0	0	0	47	0	0	32	40	19	0	8	0	7	0	0	0	0	0	0	0	153	6	167	8	0.92	0	無	
61	越谷レイクタウン・大相模調節池	0	0	0	0	0	0	0	0	28	3	0	0	57	0	1	0	0	0	0	0	0	0	89	4	55	5	1.62	9	無	
62	大吉調節池	0	0	0	0	0	28	0	42	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	75	3	29	3	2.59	4	無	
63	まつふし緑の丘公園・池	0	0	0	0	0	21	0	122	64	0	0	0	115	0	0	0	0	3	0	0	0	0	325	5	289	4	1.12	4	無	
64	吉見町等のため池群	0	0	0	3	0	0	0	39	62	2	0	0	85	1	0	0	0	0	0	0	0	0	192	6	369	6	0.52	13	無	
65	加須はなさき公園・池	0	0	0	0	0	39	0	2	74	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	115	3	156	4	0.74	2	無	
66	羽生水郷公園	0	0	0	0	33	0	0	133	149	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	319	5	795	6	0.40	5	無	
67	谷田川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1	無	
68	大池親水公園(春日部)・池	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	0	0	13	0	33	0	0	0	0	0	0	0	53	3	127	3	0.42	1	有	
69	橘川市後谷調整池	0	0	0	0	0	9	0	92	23	102	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	227	4	165	3	1.38	15	無	
70	黒浜沼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	55	1	24	1	2.29	0	無	
71	山ノ神沼	0	0	0	0	0	2	0	84	12	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	104	4	103	5	1.01	5	無	
72	智光山公園	0	0	0	0	0	69	0	68	34	0	0	0	19	0	3				0	0	1	0	194	5	233	7	0.83	0	有	
73	三橋総合公園隣接鴨川	0	0	0	13	3	38	0	0	23	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81	5	28	5	2.89	0	無	
74	岩槻城址公園・文化公園	0	0	0	0	0	0	0	5	63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	68	2	63	2	1.08	0	無	
75	武蔵水路・糠田排水機場	0	0	0	0	0	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	1	64	2	0.42	0	無	
76	玉敷神社・池	0	0	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	1	13	1	1.38	0	無	
77	見沼代用水・やなぎ大橋～境橋	0	0	0	0	0	19	0	0	4	0	0	0	4	0	64	0	0	0	0	0	0	0	91	4	172	5	0.53	1	無	
78	見沼代用水(星川) 境橋～伏越(元荒川)	0	0	0	0	0	64	0	0	31	0	0	0	44	0	21	0	0	0	0	0	0	0	160	4	228	4	0.70	3	無	
79	新河岸川 第二新河岸橋～いろは橋	0	0	0	0	0	275	0	293	49	3	0	2	132	0	0	0	0	0	0	0	0	0	754	6	402	6	1.88	7	無	
80	新川(鴨川の支流) 無名の橋(湯澤整形外科近く) ～鴨川合流地点	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33	2	43	3	0.77	0	無	
—	これ以下新規																														
81	鴻巣カントリー・池	0	0	0	19	0	0	0	107	24	0	10	0	81	0	0	0	0	0	0	0	0	0	241	5	—	—	—	1	無	
82	岩槻区南辻・宮町・調整池	0	0	0	0	1	73	0	1	16	0	0	0	47	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138	5	—	—	—	8	無	
83	デンソー加須工場に隣接する調整池	0	0	0	0	0	0	0	84	32	8	0	0	72	4	0	0	0	9	0	0	0	0	209	6	—	—	—	0	無	
84	弦代公園・沼井公園・調整池及び池	0	0	0	0	8	4	0	10	99	0	17	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	152	6	—	—	—	7	無	
85	旧川ふるさと公園・池	0	0	0	0	0	0	0	0	355	0	10	0	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	411	3	—	—	—	2	無	
86	権現堂川・行幸湖	0	0	0	4	0	111	0	4	174	0	18	0	527	0	0	0	0	0	0	0	0	0	838	6	—	—	—	17	無	

柳生 博さんとの思い出

大井智弘(さいたま市)

2022年4月16日、日本野鳥の会名誉会長で前会長の柳生博さんがお亡くなりになりました。生前お目にかかる機会が一度だけあったことを思い出しペンを書きました。

2017年3月末に山梨県の八ヶ岳山麓へ出かけた際、あいにくの天気で雪となり鳥見を早々と切り上げて蕨内正幸美術館、そして柳生博氏経営のレストランとギャラリーを併設した「八ヶ岳倶楽部」へ向かいました。私達が遅い昼食を取っていると店内にご本人の姿があって、気さくな表情でお客様とスマホでの記念撮影に応じていらっしゃいました。

「私達夫婦も日本野鳥の会埼玉で活動しています」と話すと、嬉しそうな顔をして「そうですね、まあまあこちらへどうぞ」と誘っていただき、まだ午後2時半くらいでしたが、「もういい時間だから飲みましょう」と言われワインをごちそうなっていました。楽しい会話の中では日本野鳥の会の長靴販売の経緯、会長としての地方公演やテレビドラマ撮影の話などを聞かせていただき、八ヶ岳倶楽部の事に話が盛り上がってきた頃には柳生さんも単なる酔っ払いのおじさんになっていました。

カフェの窓から見えるように設置された小鳥のえさ台で餌をついばむアトリ(下の写真)やヤマガラを間近で観察できたことをよく覚えています。もう一度八ヶ岳倶楽部に伺いたいと思っている内に訃報を聞くことになり、大変残念に思っています。

野鳥を通じての出会いで楽しい一時をご一緒させていただき有り難うございました。ご冥福を心よりお祈り申し上げます。



越谷市中島・サギのコロニーの先陣争い

山部直喜(三郷市)

かつては、4月1日ごろにダイサギとコサギがほぼ同じ頃に一番乗りでした。2019年にはアオサギも混じっての三すくみ同着となり、2020年あたりからアオサギが先行するようになりました。以下、私の今年の記録です。

2022/03/04 10:15。コロニーの竹林にアオサギ17羽。半数が婚姻色を帯びている。

03/17 15:00。アオサギ38。内7個体が営巣活動か。他のサギは0。

03/25 16:00。アオサギ20+。ダイサギ2。

04/01 16:00。アオサギ28。コサギ2。

04/03 13:00。アオサギ34。ダイサギ19。コサギ2。

04/09 17:00。アオサギ35。ダイサギ52。チュウサギ4(今季初認)。コサギ2。ゴイサギ3。あとはアマサギを待つばかり。

総会などについて

事務局担当 海老原美夫

本誌昨年(令和3年=2021年)5-6月号6ページに、今回と同じ見出しの報告をさせていただきましたが、その後も大きな好転は見られませんでした。

コロナ禍の状況は、最近ある程度の変化が見られるようになりましたが、まだまだ多数の人たちが安心して一室に集まり、総会を開ける状況には程遠いものと、言わざるを得ません。

私たちは、当会の事業実施による感染者発生数をゼロに抑えることを、一番の目標としています。今年(令和4年=2022年)の総会開催も、甚だ難しい状態が続いていると言わざるを得ません。

事務局では令和3年度の決算書を作成しました。現在監事による監査が進められています。それによりますと、前にご報告した運営準備積立金を取り崩すことは、今年度もしないで済みました。会員数の急激な減少も見られていません。会員の皆様のご支援のおかげです。引き続き皆様のお力添えをお願いします。



野鳥情報

行田市斉条 ◇8月16日、休耕田でツバメチドリ幼鳥2（鈴木 功）。

川越市古谷本郷 ◇8月20日、イソシギ1、コチドリ3、ジシギ類不明種1。8月31日、コチドリ30+、シロチドリ1、チュウジシギ1、タシギ1、イソシギ1、タカブシギ5、ヒバリシギ4。9月4日、休耕田でヒバリシギ幼鳥1、ウズラシギ成鳥1（鈴木紀雄）。◇10月5日、水田でアオサギ6、コサギ18、チュウサギ5、ダイサギ52、ハシボソガラス19、ムクドリ28、スズメ53（村越百合子）。

川越市久下戸 ◇8月20日、休耕田でタカブシギ2、ムナグロ29、ウズラシギ1、コチドリ80の中にイカルチドリ1。8月31日、クサシギ1、エリマキシギ♂成鳥1、オグロシギ1（鈴木紀雄）。

鴻巣市大間一丁目 ◇8月21日午前1時35分、闇のかなたからアカショウビンの声が細く1声聞こえてきた。8月22日午前11時頃、鋭い声に慌てて空を見上げると、サシバが1羽飛んでいた。飛翔方向を確認できないまま見失う（榎本秀和）。◇10月24日午前8時過ぎ、ジョウビタキの声を聞く。今季初認（榎本秀和）。同日、♀を2羽確認（榎本菜摘野）。

草加市柿木町 そうか公園 ◇8月27日、センダイムシクイ1（鈴木 功）。

さいたま市見沼区膝子 ◇8月27日、電線や木にコムクドリ約10。9月1日、ジシギ類不明種1、うっかり車で近づき、飛ばしてしまう。他に草地に見え隠れするチュウジシギ1。9月2日、ムクドリ約100の群れ中にコムクドリ約10。アカメガシワの木にいた。ムクドリが地上に降りてもコムクドリは降りず。やがて全体が飛翔した際、コムクドリだけ離脱して、北へ向かった。9月6日、路上でスズメ3と採餌するイソシギ1、近くの藪からオオヨシキリも顔を出す。草原にチュウジシギ1。9月7日、タシギとチュウジシギ各1。9月8日、タシ

ギ1。9月10日、コサギ1、ゴイサギ幼鳥1。用水でカワセミ♂1、電線でコムクドリ7。セッカとモズが多い。オオヨシキリ2。9月15日、クワイ田横の草地にバン1。

9月21日、地上にいるムクドリ50の群れにチョウゲンボウが低空飛行で突っ込むが失敗。9月28日、ホバリングしたり、遠くへ飛んだりと落ちつかないノビタキ1。灌木の高さ1m程の所にとまるアリスイ1、今季初認。10月14日、電線にチョウゲンボウ2。フィールドにノビタキ♀タイプ4。10月15日、フィールドにノビタキ♂3、♀3の計6羽。♂1は頭が真黒。肩羽の白も目立ち、ほぼ夏羽と言っても良いくらい。10月18日、アリスイの声がしたので、探して姿を確認。10月19日、アリスイの声が2ヶ所から鳴き交わし。10月21日、灌木にノスリ1。刈取り前の稲の上にホオアカ1、今季初認。10月22日、ノスリ1、ホオアカ1、ミヤマガラス約10とハシボソガラス約15の群れ（（鈴木紀雄））。

さいたま市岩槻区高曽根 ◇8月27日、稲刈り中の田んぼにダイサギ、チュウサギ、アマサギ9が群れる。合わせて45羽。大型のコンバインの通る脇で採餌していた。セッカの声がよく聞こえた。ツバメ2、数が少なくなった。ムクドリ約100の群れ（藤原寛治）

春日部市武里中野 ◇9月4日午前7時45分、タシギ2（石川敏男）。

行田市須加 ◇8月28日、シマアジ1、イカルチドリ5、ムナグロ6、タシギ10+、タカブシギ5、イソシギ1、オジロトウネン成鳥1、ウズラシギ成鳥1、エリマキシギ幼鳥4。9月4日、休耕田でシマアジ2、ムナグロ15、コアオアシシギ幼鳥6、タカブシギ2、イソシギ1、トウネン幼鳥22、エリマキシギ♂幼鳥3♀幼鳥1、アカエリヒレアシシギ12。9月18日、エリマキシギ♂幼鳥1、ツルシギ幼鳥1、クサシギ幼鳥1、タカブシギ幼鳥7。9月26日、イカルチドリ1、ウズラシギ幼鳥3、ハマシギ1、トウネン幼鳥15、オジロトウネン成鳥1幼鳥1（鈴木 功）。

川越市芳野台 ◇9月4日、休耕田でオオジシギ1、コアオアシシギ幼鳥1、クサシギ2、タカブシギ6、エリマキシギ幼鳥2、アカエリヒレアシシギ幼鳥1(鈴木 功)。

川越市鴨田 ◇9月4日、休耕田でヒバリシギ幼鳥2(下写真)(鈴木 功)。



さいたま市中央区八王寺5丁目 ◇9月4日、かやのき団地横の白神川でコサギ3(大塚純子)。

蓮田市笹山 ◇9月5日午前10時44分～午後1時13分、アマサギ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、タシギ2、ツバメチドリ若鳥1、トビ1、ツバメ、ハクセキレイ。9月19日、水田の間にある用水溝の中を歩くまだ小さいタマシギのヒナ1と近くの畔や用水溝で見守るひ1。無事に育ってほしい(石川敏男)。

さいたま市岩槻区横根 ◇9月7日、オオタカ成鳥1、飛翔する。9月28日、ハシボソガラスにしつこくモビングされながらホバリングをして餌を探すチョウゲンボウ♀1。10月7日、フィールドから飛び電柱にとまるノスリ成鳥1。10月11日、電柱と畔にいるノスリ各1羽を同時確認。10月20日、電線に並ぶミヤマガラス8、今季初認(鈴木紀雄)。

春日部市倉常 ◇9月7日午後3時～4時17分、アオサギ1、ダイサギ8、チュウサギ2、コチドリ31、オオジシギ1、タシギ2、アオアシシギ若鳥1、タカブシギ1、イソシギ1、トウネン4、ヒバリシギ若鳥1、エリマキシギ若鳥1、ハシボソガラス、ツバメ、セッカ、ハクセキレイ(石川敏男)。

杉戸町才羽 ◇9月7日午後4時45分、アグリパークゆめすぎとの東側、刈田にケリ

3+。車窓からの目視なので正確な数は不明(石川敏男)。

蓮田市西城沼公園とその周辺 ◇9月10日、サシバ1、大きく輪を描いて南に流れた。9月16日、サシバ2、数回輪を描いて1羽は南西に、他の1羽は高圧送電線の鉄塔の天辺にとまった。写真を撮っていたら、こちらに飛んできて、近くの低木に止まったのち、電柱で一休み。その後、空高く消えた。9月20日、オオタカ若鳥が旋回して西に流れた。9月21日、モズ高鳴き。今季ここで初。9月22日、ツミが屋敷林に飛び込んだ。驚いたのかカラスが5羽鳴きながら飛び出した。9月29日、ヒヨドリが梢で鳴いていた。今季ここで初。他にキジバト、コゲラ、オナガ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シジュウカラ、メジロ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイなど。10月4日、40羽士のカラスが北から飛来し、その内の33羽が高圧鉄塔両側の高圧線2本に並んでとまり、他は北にもどった。10月14日、ヒヨドリ50±が北から渡ってきた。今年の群れは小さい(長嶋宏之)。

さいたま市緑区 トラスト1号地周辺 ◇9月12日、スズメ、ムクドリ、カワラヒワ、モズ、オナガ、キジ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハクセキレイ、セグロセキレイ、ヤマガラ、ヒヨドリ8、メジロ12、ダイサギ3、アオサギ2、カルガモ6、カワセミ2、シジュウカラ9、上空にカワウ2、ウグイスの声、セイタカアワダチソウ群生の中からホオジロ複数の声、その後姿を見せてくれた。ツバメ2、渡り遅れ? 10月24日、スズメ、シジュウカラ、ヒヨドリ、メジロ、ヤマガラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ホオジロ、カケス、コゲラ、エナガ、オナガ、モズ、コジュケイ、アオサギ、カワセミ、キセキレイ、カワラヒワ、ダイサギ、コサギ、カルガモ、ヒバリ。ジョウビタキ今季初認、ガビチョウ(村越百合子)。

さいたま市緑区上野田 ◇9月13日、電線にコムクドリ8。9月21日、少し水の入った休耕田でバン1、セグロセキレイ1、ムク

ドリ20の群れ中にコムドリ♂1。地上にいるコムドリを久々に見た。10月5日、電柱にノスリ成鳥1、今季初認。10月19日、ヨシ原よりアリスイの声が響く(鈴木紀雄)。

さいたま市西区三条町 ◇9月14日、田んぼでムクドリ100+、チュウサギ8+、ジシギ類1など。モズ5+が高鳴き。うち1羽はひとしきりヒバリの囀りを模し、また別の2羽は電線の上で争い。組み合ったまま田んぼへ落下(大塚純子)。

上尾市中分 下芝水辺公園周辺 ◇9月16日、スズメ、メジロ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、オナガ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ホオジロ、モズ、エナガ、ダイサギ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ムクドリ16、カルガモ5(村越百合子)。

川越市 伊佐沼 ◇9月18日、ハジロクロハラアジサシ幼鳥1(鈴木 功)。

蓮田市黒浜 ◇9月19日、私の真上、間近を飛翔するオオタカ若鳥1。9月28日、上沼でバン2、セグロセキレイ2、タシギ3、コガモ6、カワセミ1、コチドリ1、カイツブリ8など。翌日コガモは14羽に増えていた(鈴木紀雄)。

さいたま市岩槻区 岩槻文化公園 ◇9月12日、ヨシ原の奥の木の天辺にツツドリ1、まっすぐこちらに向かって飛んできて、元荒川の方に飛び去る。30分ほどして戻ってみると同じ木にカッコウの仲間がとまっていたが、すぐに後方に飛び去る。同じ個体だったかどうかは不明。モズの高鳴きを聞く(藤原寛治)。◇9月19日、カッコウの仲間1、ミズキの木にエゾビタキ1。エナガ20の群れ中にヒラヒラ動く大きめの鳥、サンコウチョウ1だった。おそらく♀成鳥。9月26日、シジュウカラ、エナガ、コゲラ約50の混群。その近くにエゾビタキ3。10月9日、ハシボソガラス1にしつこくモビングされつつ高度を上げるサシバ1。南方上空、遠方に大きな獲物をつかんで、やっとゆっくり飛んで行くハヤブサ1(鈴木紀雄)。

草加市柿木町 ◇9月19日、オオタカ幼鳥1、センダイムシクイ2、イソヒヨドリ♂1、

キビタキ♀型2、コサメビタキ1。10月3日午前8時37分、サシバ7、そうか公園上空を旋回しながら西に渡る。ツツドリ幼鳥1、カケス1、オオムシクイ2、キビタキ♂1♀型2。10月24日、アオバズク1、オオタカ幼鳥1、ノビタキ2、ホオアカ3(下写真)。アオバズクは南池周辺を飛んでいた(鈴木 功)。



越谷市 越谷レイクタウン ◇9月19日、オオタカ幼鳥1、イソヒヨドリ♂1♀2。10月24日、スズガモ♀1、イソヒヨドリ♂1(鈴木 功)。

蓮田市閻戸 ◇9月19日、田圃でチョウゲンボウ♀が畔に急降下、バッタらしきものを捕まえた。オオタカ2が輪を描いて上昇。屋敷林に入った。刈田にサギ類が20数羽集まって採餌。他にキジバト、アオサギ、モズ(高鳴き)、ハシボソガラス、ムクドリ60+、スズメ、ハクセキレイなど(長嶋宏之)。

寄居町中間平 ◇9月20日午前8時~午後1時、サシバ約90、ハチクマ幼鳥1、ツミ2、ハヤブサ2、ミサゴ1、オオタカ若鳥2、トビ多数。他にイワツバメ、ツバメ、カケスなど。9月23日午後12時40分頃、カラス約20が大騒ぎ。上空にクマタカ2が同時出現(鈴木紀雄)。

白岡市 白岡総合運動公園 ◇9月21日、コガモ3、今季の初認。他にカルガモ8、カイツブリ1、コサギ1、スズメ4、セグロセキレイ2など。9月29日、ヒドリガモ7、今季の初認。他にカルガモ5、コガモ2、キジバト1、コサギ7など。10月6日、ヒドリガモ8、カルガモ10、カイツブリ1、アオサギ1、ダイサギ1、コサギ9、モズ

1、ヒヨドリ、スズメ5（長嶋宏之）。

越生町 高山不動尊 ◇9月25日、バス停日の見下～越生駒ヶ岳～御嶽山神社～猿岩林道周辺、スズメ、ハクセキレイ、ハシボソガラス、ムクドリ、メジロ、モズ、シジュウカラ、キジバト。熊野神社、関八州見晴台～高山不動尊奥の院、カケス複数、コゲラ、アカゲラ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、ウソ、オナガ、ホオジロ、コガラ複数。高山不動尊、愛宕山～地藏尊～萩の平コースを下り、キクイタダキ、「チチブ、チチブ、チチブ」と連呼する声。ヒガラがあちこちで鳴いていた。馬頭観音、天満御所～吾野駅までキセキレイ、エナガ31、ダイサギ、アオサギ、シロハラ。「ツイーチュチチュチュチー」と聞こえる声を探してみると、コサメビタキだろうか？（村越百合子）。

さいたま市の鴨川 ◇9月25日、根切橋の袂でイソヒヨドリ♀1。堤防工事で積まれた土砂の上を跳ね歩き、尾を上下に振る。10月6日、島根橋付近～堀の内橋でカルガモ120+、コガモ40+、マガモ1、ハシビロガモ5、ダイサギ3、アオサギ2、コサギ6、カワセミ3、モズ4+など（大塚純子）。

さいたま市西区島根 ◇9月28日、田んぼでタシギなどジシギ類10+、稲の刈り株やひこばえの陰に潜み、時折「ジェッ」と鳴いて飛び立つ。他にチュウサギ10+、キジ♀4+の群れ。カルガモ5、アオサギ1など。イナゴも多数（大塚純子）。

桶川市赤堀の調整池 ◇9月30日午前6時、コガモ2♂♀不明、シーズン初認。ゴイサギ成鳥12、幼鳥2。久しぶり（小貫正徳・とみ子）。

さいたま市緑区 見沼自然公園 ◇10月2日、カルガモ28、コガモ3、アオサギ1。他にキジバト、モズ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ヒヨドリなど（長嶋宏之）。◇10月19日、ミズギにキビタキ♂1と♀、オオルリ♀タイプ計5～6羽。池にコガモ、オナガガモ、ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、バンなど（鈴木紀雄）。

さいたま市中央区八王寺5丁目 ◇10月2日、かやのき団地のケヤキの梢にカワラヒワ20

＋（大塚純子）。

さいたま市中央区円阿弥2丁目 ◇10月3日午後5時頃、ムクドリ100羽単位の群れが西の方（荒川の方角）からざわめきながら続々飛来。15分程の間に上空を2,500+が東へ通過したところで夕方の移動は完了（大塚純子）。

飯能市 天覧山～多峯主山 ◇10月9日、ヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、メジロ、シジュウカラ、オナガ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、エナガ、コゲラ、ウグイス、ヤマガラ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、シロハラ、アカゲラ、サンコウチョウ、キクイタダキ、アオゲラ、シメ（村越百合子）。

蓮田市黒浜 国立病院機構東埼玉病院 ◇10月11日、林内でカケス1、今季初認（鈴木紀雄）。

蓮田市関戸、駒崎 ◇10月11日、田圃でキジ♀1、カルガモ3、アオサギ1、トビ1、カワセミ1、モズ1、ハシボソガラス4、ヒヨドリ50±、スズメ10、ハクセキレイ1（長嶋宏之）。

白岡市西 元荒川八幡橋 ◇10月11日、マガモ♂エクリプス1、カルガモ19、コガモ2、アオサギ1、コサギ1（長嶋宏之）。

さいたま市桜区白鷺 ◇10月13日、電建の調整池でヒドリガモ1、キセキレイ1、セグロセキレイ1、ハクセキレイ、スズメ、キジバトなど（大塚純子）。

蓮田市駒崎 ◇10月25日午前8時30分～11時30分、ムナグロの若鳥14の群れが、田んぼに降りて採餌していた（関口明宏）。

●ごめんなさいコーナー

3-4月号7ページの春日部市下増田新田は春日部市下大増新田に、9ページのさいたま市桜区彩湖はさいたま市南区彩湖に修正します。

表紙の写真

ツバメ科ツバメ属ツバメ

昨年6月30日、春日部市内牧公園隣の、苗が伸び始めた田んぼで、虫を追いかけていました。

榮 武男（春日部市）



7～8月に開催される探鳥会のご案内です。
探鳥会は全て事前予約制です。

【事前予約制探鳥会の開催要項】

1. 日本野鳥の会会員限定の先着順(ただし、埼玉会員優先)とする。
2. **申し込みは、当会のホームページから**とする(特記の探鳥会以外は原則として開催日の1週間前から、ホームページで受け付けを開始します)。
予約なしでの参加はご遠慮ください。
3. 探鳥会の運営は「コロナ禍の下での探鳥会運営マニュアル」(最新版が、当会ホームページの「探鳥会」>「今月の探鳥会」から閲覧できます)に沿って実施する。
4. **必須条件**：マスクなどの飛沫防止策(ご用意のない方は参加をご遠慮ください)。
5. 筆記用具や観察用具(双眼鏡等)は、各自で用意する。
6. 万一、探鳥会開催後に参加者から新型コロナウイルス感染者が出た場合には、参加者名簿を保健所に提出する。
7. 新型コロナウイルスの感染拡大が続いている場合は、**探鳥会を中止する事があります。最新情報をホームページで確認してから参加してください。**

【熱中症対策について】

コロナだけでなく、熱中症も心配な季節となりました。普及部では猛暑下での探鳥会をどのように運営するかについて検討し、2018年7月に「熱中症ガイドライン」を作成しました。14ページにガイドラインの概要を掲載しますので、ご一読ください。このガイドラインに沿って探鳥会を中止する場合も、ホームページおよび参加者各位へのメールでお知らせしますので、お出かけの前に必ずチェックしてください。

安心・安全な探鳥会運営のために、ご協力よろしくお願いします。

川越市・伊佐沼ヤング探鳥会

期日：5月21日(土) 要予約

※詳細はHPをご確認ください。

群馬県板倉町・渡良瀬遊水地探鳥会

期日：7月2日(土) 要予約

集合：午前8時20分、東武日光線 板倉東洋大前駅。または午前8時40分、想い出橋駐車場。

交通：東武線館林行き 新越谷 7:23 春日部 7:38 東武動物公園 7:43 で南栗橋行きに乗り換え 南栗橋 7:54 着で東武宇都宮行きに乗り換え 板倉東洋大前 8:13 着。または JR 宇都宮線下り大宮 7:27 栗橋 7:55 着 東武日光線に乗り換え 板倉東洋大前 8:13 着。
解散：正午ころ、谷中湖北ブロック展望塔付近の藤棚。

募集人数：30名

担当：佐野、浅見(徹)、大井、小林(み)、近藤、佐藤(宏)、長野、野口

見どころ：ヨシ原でコヨシキリやオオセッカ、そしてコウノトリを探します。コアジサシやカッコウ、ホトトギスにも期待。

その他：熱中症対策は万全に！ 天候によってコースを変更します。

さいたま市・三室地区定例探鳥会

期日：7月17日(日) 要予約

集合：午前9時、さいたま市立浦和博物館。

解散：正午前に集合地で。

交通：JR 北浦和駅東口バスターミナルから東武バス1番乗り場「さいたま市立病院前」8:21 発で終点下車。

募集人数：20名

後援：さいたま市立浦和博物館

担当：小林(み)、青木、浅見(健)、浅見(徹)、畠山

見どころ：梅雨明けの見沼田んぼでホオジロやキジを探します。暑いです！



行事報告

12月4日(土) 所沢市 狭山湖

参加: 25(会員25)名 天気: 快晴

オカヨシガモ マガモ コガモ ホシハジロ カイツブリ カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ミサゴ ツミ オオタカ コゲラ チョウゲンボウ サンショウクイ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒバリ ヒヨドリ ウグイス エナガ メジロトラツグミ シロハラ ツグミ ルリビタキ スズメ ハクセキレイ タヒバリ カワラヒワ シメ アオジ (36種) (番外: ドバト) 玉湖神社横で久々にトラツグミ。遠かったが全員で観察。リュウキュウサンショウクイも出現。湖畔で至近のチョウゲンボウと遥か対岸のミサゴ。湖面ではカンムリカイツブリが群れて回遊すれば、ハジロカイツブリは孤独の潜水を繰り返す。「木漏れ陽の蔭を鉦に身を守り 意心の採餌トラツグミ愛(お)し」 (石光 章)

12月5日(日) 北本市 石戸宿

参加: 27(会員27)名 天気: 晴

コジュケイ コガモ キンクロハジロ キジバト アオサギ クイナ ヒメアマツバメ トビ ハイタカ オオタカ カワセミ コゲラ チョウゲンボウ サンショウクイ モズ ハシブトガラス ヤマガラ シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ アトリ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (30種) (番外: ガビチョウ) 2020年2月以来の石戸宿探鳥会。開始前にヒメアマツバメ、ルリビタキ。挨拶中にオオタカ。開始早々にアトリ4羽、桜堤では多数のカシラダカ。珍しくカワセミも。鳥合わせ中にサンショウクイの声。あまりにも色々出たのに感激。 (吉原俊雄)

12月5日(日) さいたま市 民家園周辺

参加: 25(会員25)名 天気: 晴

キジ オオハクチョウ オカヨシガモ ヨシガモ ヒドリガモ マガモ カルガモ ハシビロガモ

オナガガモ コガモ ホシハジロ キンクロハジロ ミコアイサ カイツブリ カンムリカイツブリ ハジロカイツブリ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ オオバン トビ オオタカ ノスリ コゲラ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ ジョウビタキ スズメ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ カワラヒワ ベニマシコ シメ ホオジロ カシラダカ アオジ (45種) (番外: ドバト) 心地よい陽射しが届く中開催。11月下旬からオオハクチョウの家族(成鳥2幼鳥3)が入っており、この日も観察できた。猛禽類はトビ・ノスリ・オオタカを観察。ベニマシコはちょっとだけの登場だった。「冬の芝川第一調節池」はやはり出る。(須崎 聡)

12月9日(木) 加須市 加須はなさき公園

参加: 21(会員21)名 天気: 晴

ヒドリガモ カルガモ コガモ キジバト カワウ アオサギ ダイサギ オオバン オオタカ カワセミ モズ ハシボソガラス ハシブトガラス シジュウカラ ヒヨドリ ウグイス メジロ ムクドリ ツグミ スズメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ カワラヒワ (24種) 2班に分かれ、同じコースで時間を置いて出発。青毛堀川は濁っていたが、カワセミの出現に皆の顔が和んだ。公園入口では上空を舞うオオタカに歓声。園内では池の岸のキセキレイを参加者が発見。皆の足が止まり、「綺麗だ!」の声。和やかな空気に包まれて探鳥会を終えた。(長嶋宏之)

豆知識

調査部 森本國夫

皆さんは、ある地名で示される場所の範囲を詳細に調べたいとしたら何で調べますか。

筆者が最もよく使うのはパソコン版のGoogleマップです。普通の地図と航空写真を切り替えて見ることができるのも魅力です。

野鳥データベースの関係で、地名での野鳥情報がどのメッシュに該当するかを決める必要がありますが、地名で検索するとその範囲が赤線で表示されます。航空写真で「この鳥が出るとしたら、このあたりだろう」と見当を付けます。

最後に、Googleマップをベースにメッシュを表示できる“Geocode Viewer”というサイトで、見当を付けた場所のメッシュコードを確認します。



連絡帳

●第 45 回関東ブロック協議会に参加

3 月 19 日(土)午後 2 時～6 時、日本野鳥の会茨城県担当で、オンラインにより開催された同会に、本部から常務理事葉山政治、普及室室長代理箱田敦只の 2 名、関東ブロック 9 支部から合計 24 名、その内当会からは浅見徹、小林みどり、佐野和宏、森本國夫の 4 名が参加しました。

各支部の会員数、事務局体制、総会・役員会・探鳥会・調査の開催状況について、などの報告のあと、議題 1:関東ブロック協議会の今後の運営方法・ML の柔軟な活用、議題 2:コロナ下での探鳥会運営の工夫や課題、議題 3:会員減への取り組み、議題 4:探鳥会開催地や開催日の平準化などの工夫、議題 5:観察した鳥のデータベース化、と話し合いが続き、次回幹事支部(栃木)の挨拶で終了しました。

●会員の普及活動

4 月 23 日(土)、越谷市中央市民会館で開催された越谷市主催「越谷市いきもの調査 2017-2020 報告会」において、山部直喜代表が、調査対象の野鳥 16 種について調査結果の解説をしました。

●会員数は

5 月 2 日現在 1,462 人です。

活動報告

2022 年 3 月 13 日(日)-15 日(火)、メー

ル交換による役員会を開催し、日本野鳥の会三重から本部を通じて、(仮称)三重松阪蓮ウインドファーム発電所計画反対署名活動への協力依頼が届き、締め切りが差し迫っていたことから役員たちだけでも反対要望書に署名して送ることを第 1 号議案、調査部から提案された、Google の一部コンテンツを無料利用できる「非営利団体」審査請求手続きをすることを第 2 号議案としたメール交換による役員会を開催し、それぞれ承認されました。第 1 号議案については、一部の役員が署名を送り、第 2 号議案については、手続き上の問題で断念したとの報告が、その後調査部から届きました。

4 月 17 日(日) 午後 4 時、オンライン普及部会を開催。

4 月 19 日(火)-21 日(木)、メール交換による役員会を開催し、普及部から上程された議案第 1 号:令和 4 年 7～8 月探鳥会予定、議案第 2 号:令和 4 年 4 月 18 日令和 4 年度リーダー研修会(案)が、それぞれ承認されました。

編集後記

先日、ウズラの姿を見ることができた。声はあちこちから聞こえてくるのだが、なかなか見つからない。何とか草の間を歩いている姿を発見。すると、すつくと立ちあがり、胸をそらし、口を大きく開けて鳴いた。ホロ打ちこそしないが、その姿はキジ。やはりキジの仲間と再認識した。(藤)

しらこぼと 2022 年 5-6 月合併号(第 452 号)定価 200 円(会員の購読料は会費に含まれます)
発行人 日本野鳥の会埼玉代表 山部直喜 (〒330-0064 さいたま市浦和区岸町 4 丁目 26 番 8 号 プリムローズ岸町 107 号) TEL 048-832-4062 FAX 048-825-0460

郵便振替 00190-3-121130 URL <http://www.wbsj-saitama.org> 事務局 office@wbsj-saitama.org

編集部への原稿 yamabezuku@wbsj-saitama.org 編集部への野鳥情報 toridayori@wbsj-saitama.org

住所変更などの連絡は gyomu@wbsj.org または TEL03-5436-2630 FAX03-5436-2635

〒141-0031 品川区西五反田 3 丁目 9 番 23 号 丸和ビル (公財)日本野鳥の会会員室へ

本誌掲載記事はホームページに転載される事があります。本誌またはホームページからの無断転載は、かたくお断りします。

印刷 関東図書株式会社